



10世紀設立のホスピスが立つグラン・サン＝ベルナル峠 (アルプス山脈、最近まで宿舎として利用されていた)

特集 01 | ガラシア病院ホスピスの取り組み

恵みと憩いを



近代ホスピスが誕生したのは19世紀フランスやアイルランドでのことです。現代ホスピスの祖とされるシシリー・サンダース医師は、アイルランド愛徳宗教師妹会がロンドンに設立したホスピスでの働きから着想を得たと言われています。医師が開設した、旅の守護聖人「聖クリストファー」の名を冠したホスピスでは、患者の最期の死出の旅に先立ち、痛みから解放されてつかの間の休息を取り、スタッフや家族、子どもたちも訪れて共に時間を過ごすような、活気に満ちたコミュニティが目指されました。



聖ヨハネ病院騎士団ロードス島ホスピス (ギリシャ、現博物館) 写真: Microsoft Bing (右上)、Taptrip 記事より (右下)

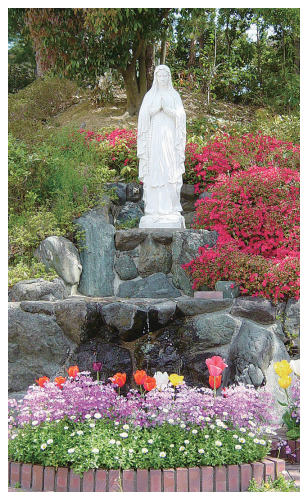
日本におけるホスピス運動は、このサンダース医師を導き手として始まりました。その普及を勢いづけたのは、1990年に「緩和ケア病棟」が末期がん患者に対する公的医療保険の対象となったことでした。このため、日本ではホスピスと言えば、終末期のがん患者が最期の時間を過ごす施設という理解が広まっています。しかし最近の緩和ケア病棟は、がんという診断がつけばどの時点でも(希望すれば)入院ができます。

「ここにしかない温かい緩和ケア」を目指し、箕面市のガラシア病院にホスピスが開設されてから10年余り。ホスピスとは何か、そこではどのような取り組みがなされているのか。二回に分けて、施設長とホスピス長に解説していただく。

がんに対する治療はしませんが、痛みのコントロールだけでなく、その他の症状の治療や軽減も行います。抗がん剤の治療の合間や、急性期病院での滞り場所として入院される方もいます。当院ホスピスでは、どのステージの方にとっても、「隅の親石」(詩118:22)に基を置く「Domus Gratie (恵みの家)」であるよう、患者、家族、スタッフ、ボランティアの力を合わせて取り組んでいます。次号ではその取り組みをご紹介します。紹介したいと思います。

皆様は「ホスピス」と聞くと、何を思い浮かべるでしょうか。末期がん患者が死を迎える所、もはや積極的治療はしない代わりに、痛みを取ることで患者が静かに最期の時間を過ごす所、といったイメージでしょうか。

ホスピス(hospice)は、客への歓待を意味するhospeを語源として持ち、hospital、hostel、hotelなどと同じような使われ方をしていたようです。パリのシテ島にはHotel-Dieu病院があります。10世紀に設けられたサン＝ベルナル・ホスピスや聖ヨハネ病院騎士団のロードス島ホスピスが有名ですが、命がけのエルサレム巡礼の旅路で病み、疲れた人々も、これらの施設で癒されて旅を続け、あるいは看取られていったのです。ホスピスにとって、客人は「わが主イエス」であるという精神をもって仕えられました。16世紀以降の宗教動乱と近代科学の発達によって、医学的な治療の場こそが病院であるとされ、病者を客人として遇するといった中近世的なホスピスの姿は一時期忘れられました。「死にゆく人々」に全人的なケアを提供する場として



ガラシア会のルルドの庭

(文 医療法人ガラシア会 施設長 石丸伸司)



青少年司牧委員会有志企画 オンライン交流会

来年は会えようね

8月22日(日)14時から2時間、Zoom(オンライン会議ツール)で、青年有志による交流会が開催された。テーマは「青年と子どものためのオンライン・レクリエーション企画～来年は会えることを願って」。



参加対象は小学3年生～中学3年生。以前、教区青少年練成会に参加した中から7人の子どもたちとリーダー12人が参加した。

今年の「スーパーリーダー・クイズ」や2つの班に分かれてすごろくをしたりした。レクリエーションをたくさんした2時間となった。

コロナ禍の影響で2年連続、子どもたちとリーダーたちが直接会うことができなくなってしまった。その中でも、何か他の方法で子どもたちとコミュニケーションを取ることはできないかと思い、青年たちは今回、オンラインの企画をした。

リーダーの感想

交流会では、初めてのオンライン企画だったので慣れないことも多く、不安でいっぱいでしたが、子どもたちもリーダーもとても楽しい時間を過ごすことができました。

直接会うことはできなくても何か他の方法を使っても、子どもたちとコミュニケーションを取ることが大切だと学んだので、これからも続けたいです。

子どもたちもあまり人見知りせず、終始笑顔でした。大きなトラブルもなく、オンラインであっても、参加した子どもたち皆と話すことができました。「また参加したい!」「明日もやってほしい!」という感想をもらえました。

(文 関目教会 田川優香)